

行事報告書(研修)

報告者:池田 清

行事名	自然観察会
実施日時	2023年 7月 6日(木曜日) 10:00~15:15 天候:晴れ
場所	甲山森林公園
テーマ	夏季の樹木の生き様
講師	児玉 勝久さん
参加者数	29名
内容 (項目と概要)	<p>雨の昨日とは打って変わった良い天気となり、2か月振りの観察会を迎えることができました。</p> <p>■10:00~ 本日の進め方の説明(児玉さん、大原さん) 午後は暑くなるので午前中に屋外で樹木を観察する。3つの班に分かれて樹木の生き様(開葉、花、果実、冬芽等)を所定のデータシートに記入すると共にサンプルを採取して12:10迄に部屋に戻ってくる。昼食後は、ミニ講座(三仲さん)、児玉さんの講義、各班で持ち帰ったサンプルの観察と結果報告を行う。</p> <p>■10:15~ 各コースで樹木観察とサンプル採取 3つの班に分かれて(出席者順番に1、2、3、1、2・・・で班分け)、観察開始。 1班:A+Bコース:パークセンター~西入り口~自由広場~シンボルゾーン~彫刻の道 2班:C+Dコース:みどり橋~レストハウス~展望台 3班:E+Fコース:みくるま池~レストハウス</p> <p>班ごとに所定の観察シートへの記入と同時に、枝や果実のサンプルの採取をおこなった。枝に種名を記したタグを巻きつける、葉裏にマジックで種名を記す、種名記入のラベルを葉裏に貼る、果実サンプルは袋に入れる、等々各班いろいろ工夫して採取サンプルを持ち帰った。</p> <p>■昼食・休憩後 12:30~ シニア自然大学の新旧理事2名(浜田さん、小松さん)が見学にみえご挨拶あり。 12:45~ 三仲さんのミニ講座 猫が日本に入ってきた経緯(6世紀頃、中国から経典や穀物を船搬送時のネズミ退治用に利用)の紹介から野良猫との交流・対応・地域との共存等々、猫への愛情溢れるお話を伺った。</p> <p>■13:00~ 児玉さんからの講義 今年の冬季・春季の気象の特徴とそれを踏まえての夏季の樹木の生き様を枝葉の展開、開花・結実、果実の成長、来年への準備等々の観点からお話が聞けた。幅広く、興味深い内容であった。</p> <p>■14:00~ 切り枝サンプルを使つての観察会 持ち帰ったサンプルを班別にテーブルに広げ、全員が周りを囲む中で、班毎に観察結果や児玉さんの講義を踏まえての所見等が披露された。3班→2班→1班の順。ワイワイガヤガヤと皆で観察し合った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">     </div> <p>ゴンズイ果実 アラカシ2度伸び ハクモクレン冬芽 クヌギ今年の果実と昨年の果実</p>
まとめ 感想	<ul style="list-style-type: none"> ・アラカシやクスノキ等々、2次展葉している樹木があることが分かった。 ・落葉樹だけでなく常緑樹も既に冬芽を作っていることが確認できた。 ・屋外での観察が午前中で助かった。午後の観察だと暑くて大変厳しかったと思います。